

# ラップ Wrap Wood ウッド

## 【窓造作枠用 リフォーム専用カバー】

### ◇お取り扱い上のご注意◇

#### ※ご使用前の注意※

このたびは、WrapWood(ラップウッド) をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本製品を使用するさいには必ず本説明書をお読みのうえ正しくご使用ください。本説明書にそわす誤った使い方による破損、または誤用などによるケガおよび損害が発生した場合は、当社および販売会社について責任を負いかねますのでご了承ください。本説明書では、お客様が本製品を安全に正しくご使用いただくための取り扱い方法や、お手入れの方法などの内容を記載しておりますので本説明書は大切に保管してください。



#### 注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、お客様が傷害・軽傷を負う危険、又は物的損害の発生が想定されます。

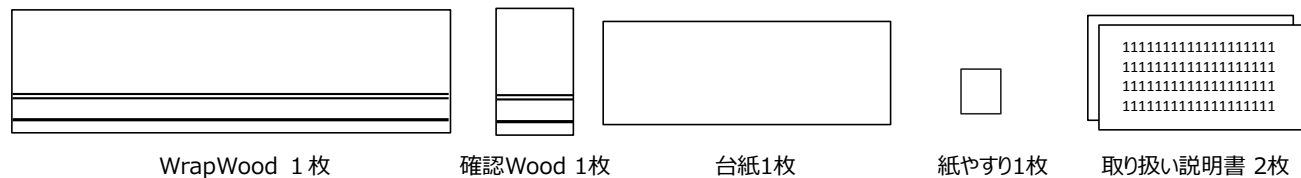


### 注意※安全のため、必ずお守りください※

以下の注意事項は本製品の取り扱いを誤った場合に、お客様や使用される方が、障害・軽傷を負う危険や、また物的損害が発生する事を未然に防ぐためのものです。

- ※ 本製品は一般住宅に使用されている室内用窓枠、造作枠などの損傷部分や、経年劣化による色の変色などをカバーする事で、既存の窓枠・造作枠などを壊さずにリフォームできる商品です。
- ※ 本製品は野外、または野外に面する場所や浴室、高温多湿な環境下、直射日光が長時間当たるところ、キッチン、コンロの周辺、水回りや、雨が直接かかる場所、また結露に長時間、本製品が浸されてしまうなどのところでの使用はしないでください。そのようなご使用をされた場合、本製品の損傷及び劣化、破損、水などによる膨れ、膨張による剥がれなどの問題につきましては、一切の保証は致しません。水や雨が直接本製品にかかった場合、すぐに乾いたタオルでお拭きください。
- ※ 窓枠や造作枠の状況、汚れなどによっては、下地処理をしたうえでご使用下さい。また、誤った使いかたをした場合、本製品が窓枠や造作枠などよりはがれたり落下するなどの問題がおこります。その場合、お客様や使用される方が、傷害・軽傷を負う危険や、物的損害が発生する恐れがあります。同じく、はがすさいにも同じような損傷・破損・障害・軽傷・物的損害が発生する恐れがあります。このような問題についての責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- ※ 本製品をカッターなどで切るさい、必ず傷のつかない物や傷がついてもよい物の上に、本製品に同梱されている台紙をのせ、その上で本製品を切ってください。台紙の範囲をこえ、それ以外の場所や物に、カッターなどによる傷がついた場合の責任は一切負いかねますのでご了承ください。また、何かの上に直接、本製品を置いて切ったときに生じる、本製品表面などへの傷や打痕などの問題につきましても、一切の責任は負いかねますので、必ず台紙の上で切って頂きますようお願い申し上げます。
- ※ 本製品のシート表面に重い物をのせたり、固い物を落としたり、ぶっつけたりした場合、表面に打痕傷が残ります。また、本製品を折り曲げた時に出来る面取り部分（面巾2mm）はシートのみ仕様となっています。この面取り部分に、先のとがった物をぶっつけたりした場合、破れる恐れがあります。さらに、鋭利なもので引っかいたりした場合もシート表面や本体が破れるなどの問題となります。この場合の破損及び傷などの問題については、一切の責任は負いかねますのでご了承ください。
- ※ 本製品の表面の質感、硬さなどは一般住宅建材と同等もしくは変わらない商品となっていますが、本製品は1.2mmという非常に薄い商品のため破れやすくなっております。むやみに本製品を引っ張ったり、引きちぎるなどの行為はぜったいにしないでください。
- ※ 本製品は、住宅建材で使用されているオレフィンシートを使用しています。シート表面への斜光の当たりかたにより、小さな異物が見える場合があります。これは、本製品を生産するときに、オレフィンシートと板(MDF)を接着するさいに生じる、接着剤の中に含まれる小さな固形分、および、空気中に浮遊する小さなほこりなどが混入したものです。本製品の使用上、性能などに問題が生じる恐れはありません。
- ※ 開封されましたら製品の不足、および損傷がないかをご確認ください。製品に不足、または不具合がある場合、必ずご使用になる前にご購入先までご連絡をお願いします。
- ※ 本製品や本製品の一部、および梱包材などを捨てる場合は、各都道府県のゴミの分別などの指示にしたがい処分ください。

### 製品リスト (本製品の不足、および損傷がないかをご確認ください。)



### Wrap Wood(ラップウッド) 物性表

\* 巾・長さなどの詳細は当社ホームページをご覧ください。 [\(有\)太田和創](#) [検索](#)



①ベース基材	MDF(針葉樹) マミンタイプ F☆☆☆☆
②シート基材	オレフィンシート
③シート接着	2液硬化型 水性接着剤
④コーティング	特殊ウレタンコート(粘着・接着専用)
* 溶剤系は一切使用しておりません。	

### シート表面のお手入れ方法

症状	お手入れ方法	
泥、ほこり、調味料など	濡れぞうきん、または中性洗剤で軽くふき取ってください。	
汚れ	マジックインキ、クレヨンなど	・中性洗剤や溶剤で軽くふき取ってください。 ・中性洗剤や溶剤の塗り過ぎや、強くこすると艶が変化を起す恐れがありますので注意が必要です。
	接着剤、塗料など	・汚染物が広がらないように注意しながら、乾かないうちに手早くふき取ってください。 ・すぐに中性洗剤、溶剤で軽くふき取ってください。

# 本製品の説明書は全て窓枠を基本に説明しています。

## ☆カッターでまっすぐ安全に切るためのポイント☆

※カッターの刃は薄く曲がりやすいため、ものさしなどを当てながら正確に切ろうとしても、一度に力を入れ過ぎたり、一度に長く切ろうとしたりすると曲がってしまう恐れがあります。また1度、曲がってしまったところをまっすぐに切りなおすことは難しく、さらに曲がってしまったり、その周りがつぶれるなどの恐れがあります。ご安全にまっすぐ切っていただくには、**★ここがポイント!!**を、よくお読みになり、慌てず安全にカッターをご使用ください。

### ★ここがポイント!!

- ★カッターの刃先は、小さくとがっている為、ものさしなどを使い少しずつずらしながら、軽い力で浅いまっすぐな溝を正確に1本引きます。その後、**その溝にカッターの刃先を入れながら1本目と同じように慌てずゆっくりと何度も軽い力で**、カッターとものさしなどをずらしながら切ることで、安全に本製品を正確にまっすぐ切ることができます。
- ★本製品をカッターで切る場合は、**必ず、傷のつかない物の上や、傷がついても良い物の上**へ、同梱されている台紙をのせ、その上で本製品を必ず切ってください。
- ★台紙は本製品より小さく、厚みは特に薄いのでカッターなどをご使用される場合は、ご注意ください。(台紙以外のところに傷が入らないように、ご注意ください。)

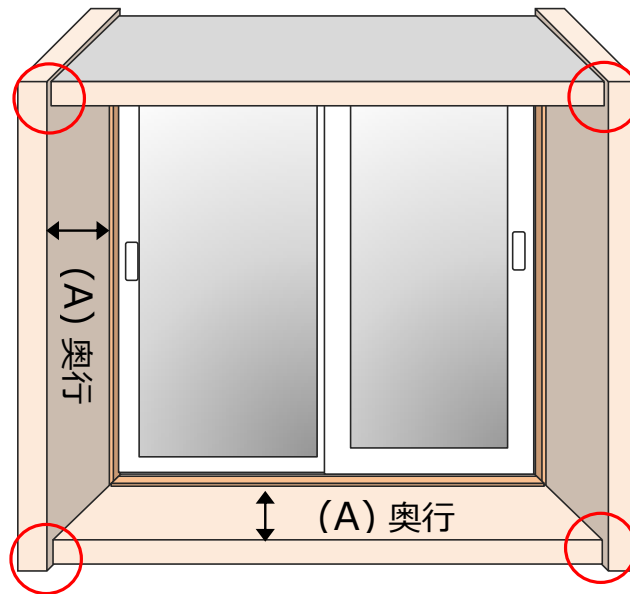
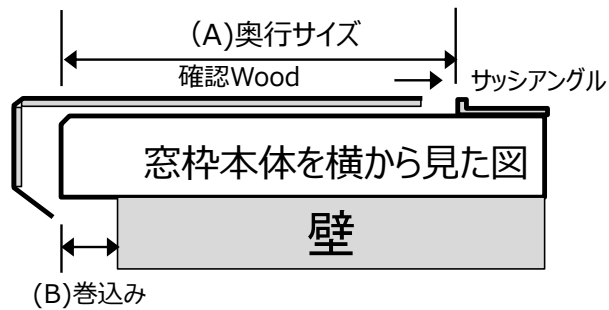
**⚠** カッターなどで切った後の切り口は非常に危険です。手や指などを傷害・軽傷する恐れがあります。ご注意ください。

## ☆一番最初に確認Woodを使って窓枠のサイズを確認します☆

### ◇窓枠基本図◇

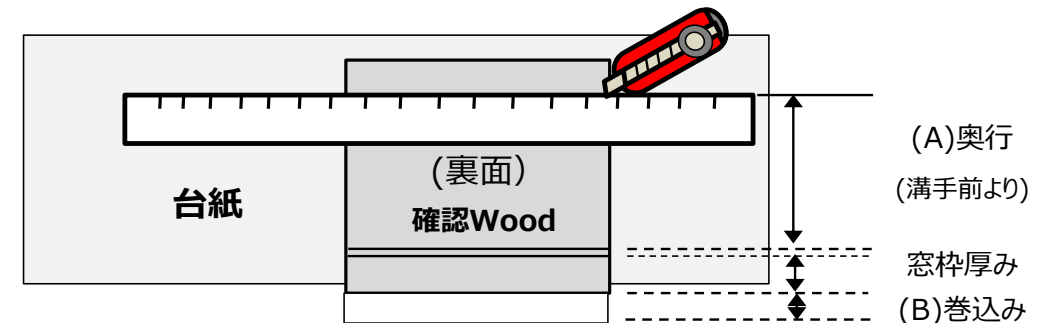
※切り口は**危険**です。

同梱の**紙やすり**で切り口は磨いてください。



### ☆(A)奥行と(B)巻込み確認する。

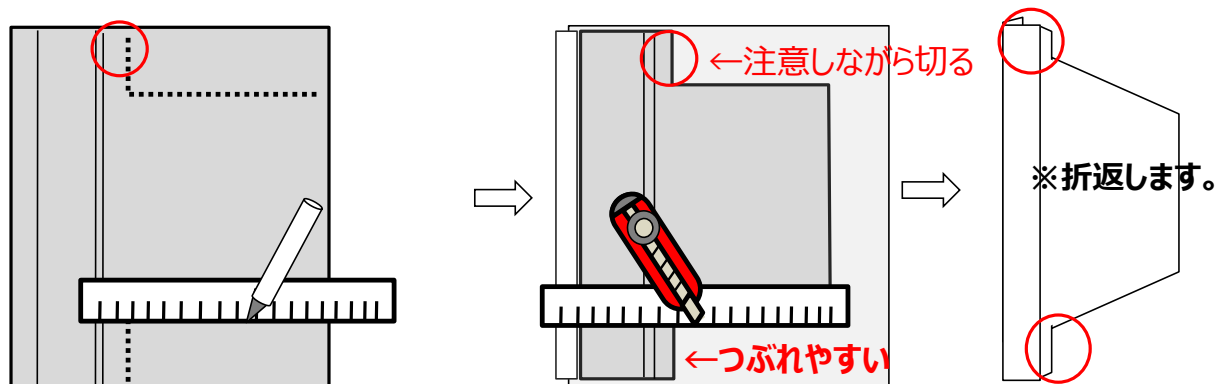
- ◇(A)奥行と(B)巻込み寸法をはかります。(下図参照) 同梱の台紙の上に、確認Woodを裏返しに置きます。
- ◇ものさしと**ボールペン**などを使い、先ほどはかった(A)奥行寸法より少し小さめに線を書き、カッターなどを使い切ります。(鉛筆を使用した場合、線が見えにくくなりますので、ボールペンなどをお勧めします。)
- ◇実際に切った確認Woodを窓枠へあて、サッシを止めるサッシアングルに当たらないかなどをご確認してください。



◇(B)巻込みが15mm以下であることを確認下さい。

☆縦枠と上下枠の前面に段差がある枠の場合は、段差部分を作ります。

- ◇上図○部分の段差を確認します。(段差がない窓枠は、実践編①にて説明書します。)段差のある窓枠については、L形に切る工夫がいります。奥行のサイズで使用した、確認Woodをもう一度使い下図のように○部分のL型を上下に作ります。

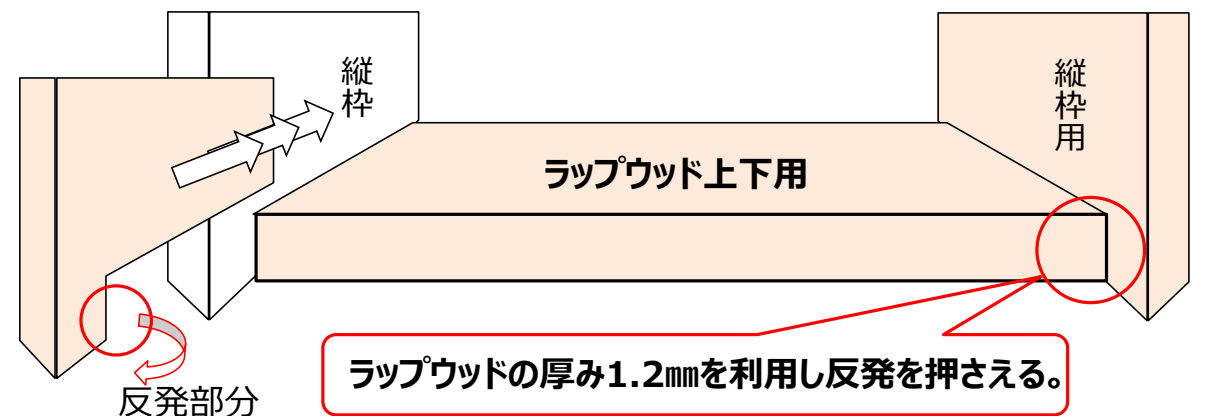


◇切った後、左右縦枠の上下の部分に合わせL型部分の形、寸法を確認します。

### ★ここがポイント!!

(下図参照)

- ◇L型に切った部分を折り返し、縦枠に貼る時、○の部分は反発します。この反発は後で貼る、上下用に使うラップウッドの前面の厚み1.2mmを利用し反発する部分へ被せることで、見た目も良く反発もおさえられます。



## ◇実践編① 窓造作枠にあわせて 縦枠から始める◇

**注** \* 窓枠の開口(巾・高さ) 部分の寸法は、上下、奥、手前とも同じではありません。必ず先に縦枠からカットし、窓枠本体に貼りつけてください。  
次に、既存の上下枠の巾、奥行に合わせてカットし貼り付けます。本説明書の裏面◇実践編②に両面テープの貼り方を説明していますのでご覧ください。  
\* 窓枠本体の材質によっては両面テープが使えないなどの場合があります。その場合は材質や状況に合った接着剤などのご使用をお願いします。

※縦枠と上下枠に段差が無い枠はこちらを確認ください※

◇左右縦枠と上下枠の○部分(下記窓図)に段差がない枠の場合は、そのまま前面部分に合わせて切ってください。ただし、合わせ部分が斜めにカットしてある枠は、できるだけ縦枠をまっすぐ伸ばした形で合すことをお勧めします。(斜めの角度を合すのが難しくなります。)

### ①左右縦用の寸法線を書く

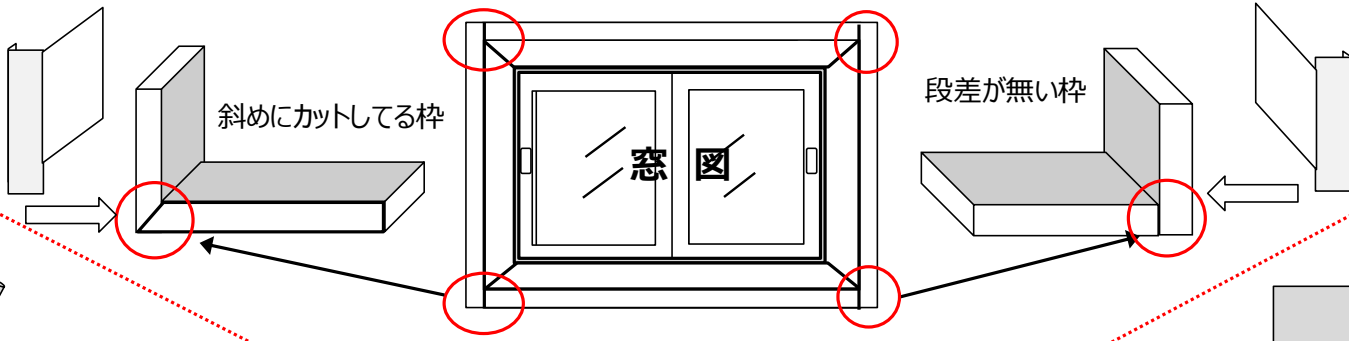
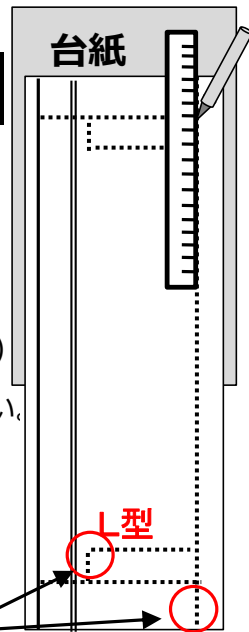
(右用・左用を作ります)

**注** 台紙を必ず敷いてください。

※左右対称を確認しながら線を書く

(前面)  
※ボールペンなどをご使用ください。  
鉛筆の場合、線が見えにくくなります。

◇確認Woodで確認した(A)奥行とL型の部分の線を書きます。



### ②左右縦用の寸法線を切る

(右用・左用を切ります)

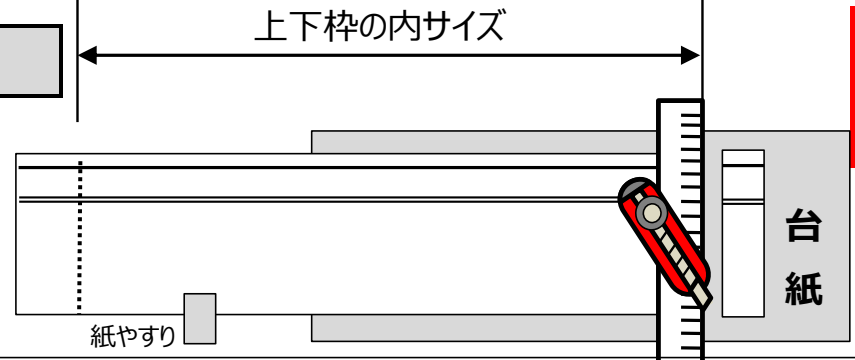
**注** 必ず傷がついてもよい物の上などへ台紙をのせ、その上で本製品を切ってください。

**注** 本製品を切ったあとは必ず付属の紙やすりを使い、切り口で手や指などが切れない安全な程度まで磨いてください。

※小さく残す部分です。つぶしてしまわないよう、少しずつゆっくりと何回かに分けて切ってください。

### ③上下用を切る

◇縦枠の貼り付けが終わりましたら、上下枠の内寸サイズをはかり、寸法線をラップウッドに書きます。先ほど確認Woodで、窓枠本体に合せ確認した奥行の寸法線を書きます。  
◇寸法線がかけましたら、カッターなどを使い、寸法線を切ります。



**注** 必ず傷がついてもよい物の上などへ台紙をのせ、その上で本製品を切ってください。

**注** ※必ず左右縦枠を貼られてから、③上下枠を切るを実践ください。  
左右縦枠の厚み分(内サイズ)が変わります。

**注** 本製品を切ったあとは必ず付属の紙やすりを使い、切り口で手や指などが切れない安全な程度まで磨いてください。

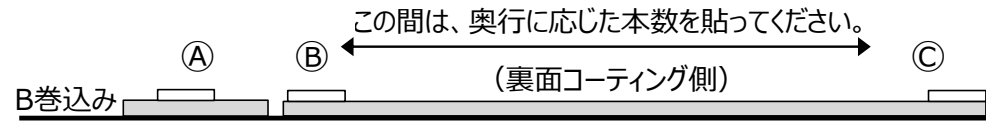


## ◇実践編②ラップウッドを両面テープで貼る◇ 縦枠より貼ってください。

◇両面テープを使用し窓枠本体へ貼ります。窓枠本体に直接両面テープを貼り付けてもかまいませんが、ここでは、ラップウッドに両面テープを貼り付ける方法を説明します。

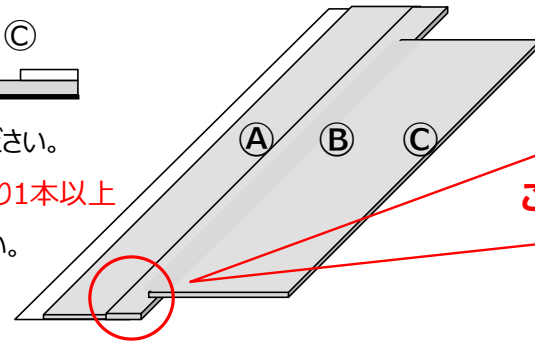
**\* 窓枠本体の材質によっては両面テープが使えないなどの場合があります。その場合は材質や状況に合った接着剤などのご使用をお願いします。**

### ① ラップウッドへ両面テープを貼る (直接、窓枠に貼られる方も参照ください。)



- ◇ (A)の所は、シートの反発により浮きやすい部分です。必ず**1本以上**貼ってください。
- ◇ (C)の部分は窓の状況によって、はがれやすい部分です。必ず、**後ろきわ側より1本以上**貼ってください。(B)~(C)の部分は、窓枠の奥行に応じた本数をお貼りください。

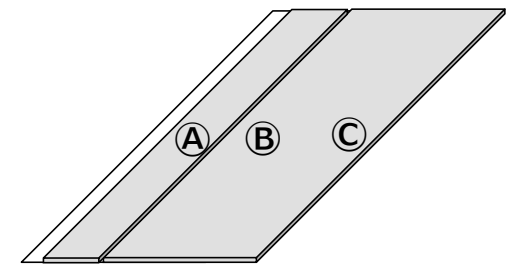
左右縦枠用



この部分

◇L型に切った部分は反発しやすい部分です。必ず両面テープをきっちりと貼ってください。(小さな部分には、両面テープを、**2枚以上重ねて貼る**ことを、おすすめします。)

上下枠用



### ② ラップウッドを折り曲げた後、窓枠本体に被せサイズを確認します。その後、C面になる裏部分の溝に、コーキングまたは、1液性シリコン系接着剤や、ウレタン系接着材などを入れます。

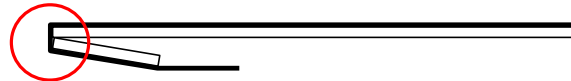
**\* C面部分に、鋭利なものなどをぶつけた場合、C面部分のシートが破れる恐れがあります。コーキングなどを溝に注入して頂く事でそういった問題を軽減します。**

☆綺麗な面になります

◇折れ目を付ける程度に曲げる。シートが固い場合は、ドライヤーなどで少し温めて下さい。

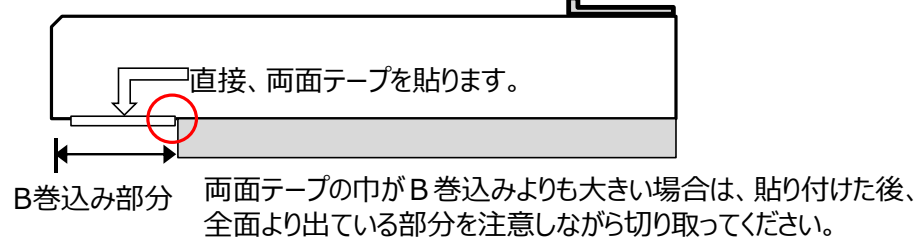
**注**

完全に折り曲げると、シート部分が伸びてしまい面の角に**白い筋**が入ります。



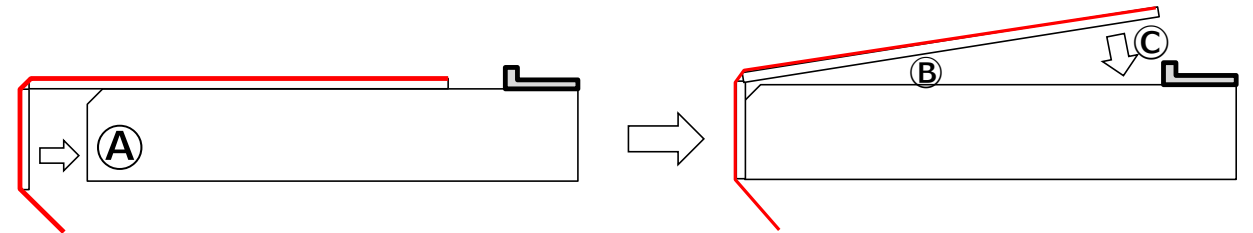
### ③ 窓枠本体の前面裏側に両面テープを貼る。

※両面テープは奥を基準に貼ってください。



### ④ ラップウッドを窓枠本体に貼る (前面A部分より貼って下さい)

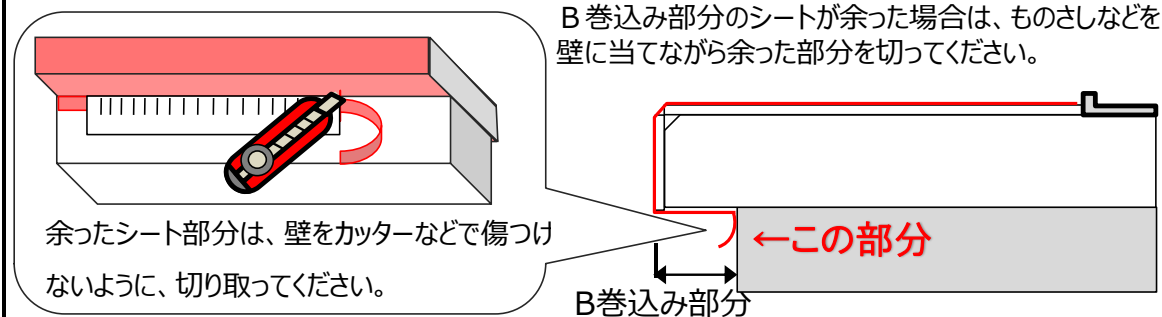
◇(A)の前面から両面テープをはがして貼ってください。 ◇(B)(C)の上面の両面テープをはがして貼ってください。



### ⑤ 窓枠本体の前面裏側に貼った両面テープの剥離紙を剥がしシートを貼る。

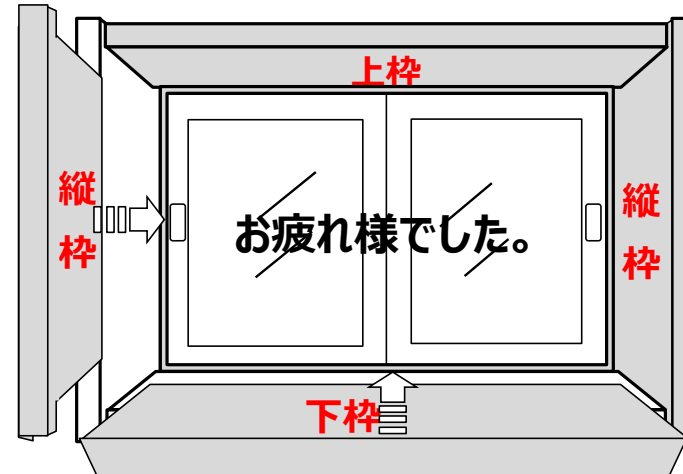
**注**

掃出しなどに使用する場合は、巻き込み下部分を巾木の形状に合わせシートを切ってください。



※冬などの気温が低いときは、シートや両面テープが固くなります。その場合、ドライヤーなどで少し温めると貼りやすくなります。

**完成**



☆より強力に両面テープを貼りたい方は、両面テープの重ね貼りをお勧めします。とくに、(C)部分は結露などの問題に侵されるところです。両面テープを2重以上に貼って頂く事で、剥がれや膨れの問題は軽減されます。